

学校教育目標	心豊かに たくましく生きる長江っ子の育成		尾道市立長江小学校
a ミッション	○質の高い教育研究によって、実践を積み重ね、児童の知と人間性を育むこと ○（スクールミッション）思考プロセスの深化と、組織的な研究体制の確立	a ビジョン	

領域	視点	評価計画					自己評価			学校関係者評価			改善計画		
		b 中期経営目標 (H30～H32)	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
							と達成値				イ	ロ	ハ		
児童の育成	学力	新学習指導要領の「育成すべき資質・能力の三つの柱」をバランスよく育成する。	○ 知識・技能の定着 ○ 論理的な思考に基づくものの見方・考え方の育成 ○ かかわり合って課題発見・解決しようとする態度の育成	協働的な探究プロセスを取り入れた授業を、特定の教科にかかわらず実施する。	①算数科における単元末テストの正答率 ②国語科・算数科・社会科・理科の「思考力・表現力をみる問題」の正答率	80%									
			課題発見・解決学習の単元開発とブラッシュアップを行う。	課題発見・解決学習に関する肯定的回答（児童アンケート）	85%										
	生き方（規律・社会性を含む）		○ 人も自分も大切にしている態度の育成 ○ 自己を客観的に見つめ生き方について考えようとする態度の育成	長江小文化の「相手を思いやる」ことが、生活の中で主体的に実践できるよう指導する。（重点項目①「あいさつ」②「言葉遣い・呼び方」）	①「あいさつ」 ②「言葉遣い・呼び方」 肯定的評価（教師評価）	85%									
			道徳、総合的な学習の時間での「振り返り」を研修に組み込み、質を高める。（特に自己の生き方、学校生活、集団生活にかかわることについて）	振り返りにおいて「自分自身を見つめる」「児童の変容」についての記述ができた児童の割合。	85%										
体力・保健			○ バランスの取れた体力の育成 ○ 自分の体力と健康について、主体的に高めようとする態度の育成	集会や業間体育など、日常の場で体力向上についての関心意欲を高める。個人の記録カードを工夫し、目標を持たせる。	体力向上について、自ら進んで取り組んだ児童（児童アンケート）	80%									
				児童の健康実態を客観的データから把握し、食育や保健指導を計画的に実施する。	歯科検診で歯垢付着なしの児童の割合	80%									
学校への信頼獲得	対応・発信	保護者、地域、さらには教育行政の期待を把握し、それに応える。	○ 情報を共有し、行動を揃え、組織的な対応をする学校組織の構築 ○ 客観的データに基づき、PDCAサイクルで改善を進める体制の確立	家庭連携、懇談会、アンケートの実施等により、保護者の思いや願いを把握し、校務運営の改善充実に生かす。	保護者の信頼度・満足度（保護者アンケート）	90%									

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成）
B：80≦（ほぼ達成）<100
C：60≦（もう少し）<80

D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。ハ：わからない。